

# 患者さまへのお知らせ・お願い

## □ロビーコンサートのお知らせ

- ◆ 4月30日(木) 丹羽 千夏さん(ピアノ演奏会)
- ◆ 5月15日(金) 池内 光子さん(アコーディオン演奏会)
- ◆ 6月12日(金) 渡辺 静さん他(ピアノ連弾)

中央棟1階会計前ロビーにて、19:00より開催いたします。30分間の演奏会です。是非、お越しください。コンサート予定表は、各病棟掲示板および会計前ロビーにて掲載しております。曲目につきましては、コンサート当日、会計前ロビーにて掲示いたします。ご確認ください。

## □「病院の言葉」を分かりやすくするリーフレット配布開始のお知らせ

近年、日本社会でも個人の価値観が尊重されるようになり、一人一人が生活に必要な情報を自ら集め、きちんと理解し、しっかり判断する事が必要となっています。この点、医療はごく身近な問題でありながら、自分で判断して決める事が難しいものの代表です。医療者の話す言葉や、診断書や示されたカルテ等にかかれた事柄が理解できないことがあります。そこで、国立国語研究所は、そこで使われる言葉を正しく理解して的確な判断を、医療を受ける方にしてもらうため、病院の言葉のわかりにくさと、それをなくしていくための工夫に取り組み、わかりにくいとされる代表的な言葉を取り上げ、具体的な解説を作成しました。



患者さまに、十分納得したうえで、自らが受けられる医療について、的確なご判断をしていただき、意思決定をしていただくために、国立国語研究所が取り上げた、わかりにくいとされた57の「病院の言葉」の解説リーフレット(さくら色)を作成いたしました。

診察にご来院された際などに、ご利用ください。

このリーフレットでは、国立国語研究所の「病院の言葉」委員会が、まずこれだけはと推奨している、端的な言い換え表現やごく簡単な説明例を挙げています。

さらに詳しい説明例等につきましては、国立国語研究所のホームページをご覧ください。

<http://www.kokken.go.jp/>

## □ 初診時保険外併用療養費(選定療養費)改定のお知らせ

初診時保険外併用療養費を以下のように改定いたします。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

改定日:平成21年4月1日(水)より

改定額: 現行3,150円(税込) ⇒ 改定後5,250円(税込)

初診時保険外併用療養費(選定療養)制度とは・・・

病院と診療所との機能分担推進をはかるため、200床以上の病床をもつ病院での診療において、他院または診療所からの紹介状をご持参されずに受診される患者さまに保険診療の自己負担分とは別に上記金額をご負担いただく厚生労働省の定めた制度です。

ご不明な点につきましては、初診受付または各診療科受付までお問合せください。

## 編集後記

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。温暖化が叫ばれている中、3月になり東京、横浜に今季初めての積雪がありました。梅は既に終わりましたが、桜はいつ頃から困ってしまいましたね。とは言うものの、最近数年は桜の時期が早く、首都圏では満開の桜をバックに入学式の我が子の晴れ姿を撮る事が出来ず、お嘆きのご両親も多いと思います。また、今季は昨年の暑くて雨の少ない夏のために関東以西では昨年の2~3倍のスギ花粉が散布されるとの予想もあります。私が子供だった30年前(いえ、40年前です)は、花粉症は珍しかったのですが。都会のビルの間では、桜よりも花粉症の鼻水が春を告げる確実な風物詩になりつつあるようです。鼻水では風情のある詩も作りにくいですね。子供のため、孫のため、きれいな環境の日本を残してあげたいと思うこの頃です。

広報委員会 委員 笠原 慶太

北部病院だより 第54号

平成21年3月20日発行

発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)

編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)

発行 昭和大学横浜市北部病院

〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1

電話 045-949-7000(代表)

URL: <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>

北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』が参照できます。

# 北部病院だより 第54号

第54号【2009/03/19 発行】

発行者: 昭和大学横浜市北部病院

## ●巻頭言

### 『骨・関節の病氣』

～最近の考え方～

整形外科 准教授 稲垣 克記

## ●イベント情報

外来患者さまアンケート集計結果報告

## ●医師の配属・異動・退職

## ●診療統計

## ●外来担当表

## ●患者さまへのお知らせ・お願い

ロビーコンサートのお知らせ

新リーフレットのご案内

初診時保険外併用療養費 改定のお知らせ



樹木に野草に春が満ちて来ました。

## 巻頭言

### 『骨・関節の病氣 ～最近の考え方～』

整形外科は、四肢と脊柱の骨・関節(運動器)に生じたけが(外傷)や病氣(疾病)を取り扱う科です。今回は骨・関節の病氣(疾患)に関するお話をしましょう。

整形外科の外来を訪れるかたでけがを除く病氣の場合、腰と関節の痛みを訴えられる方が多くを占めます。腰の病氣の代表は腰椎椎間板ヘルニアと腰部脊柱管狭窄症です。前者は30-50代の比較的若い年齢層で症状は強い坐骨神経痛を伴う腰痛が多く、後者は60-80代の比較的高齢の方に下肢の歩行後のしびれとして出現します。後者には腰痛を伴わないのが特徴です。よく、「この坐骨神経痛は椎間板ヘルニアにちがいないから接骨院でマッサージでもしてもらおう」という方に遭遇しますが、これは得策ではありません。診断なしでの治療の開始になりますから廻り道になります。自分で自己診断し病院の専門医に診てもらったときにはすでに手遅れということにならないようにしましょう。「坐骨神経痛」は診断名ではありません。「坐骨神経痛」を起こす病氣のなかに椎間板ヘルニアや腰椎すべり症、脊柱管狭窄症、馬尾神経腫瘍などがあるのです。やはり発症の初期にドクターにきちんと神経学的所見を診察してもらい、レントゲンとMRIを撮って正しい診断をつけてから治療を開始するようにしましょう。稀ではありますが実は内臓にがんが見つかったり、多発性硬化症のような難病の一症状のこともあります。股関節や骨盤に原因が見つかったり血液検査も必要ながありますので、とにかく自己診断だけはやめましょう。

腰椎椎間板ヘルニアに関してはMRIによる調査の結果、7-8割はヘルニアが自然消失することがわかってきました。また、喫煙が椎間板に悪影響を及ぼすこともわかっています。日常生活上の注意と姿勢の注意、コルセット(固定)そしてタイミングよく薬物療法やブロック療法を行えばたいいの場合よくなるのですが、ヘルニアの脱出部位や神経学的所見により2-3割の方は手術をしなければならぬのも事実です。

一方、関節疾患では膝痛が最も多くその代表格は年齢に伴う変形性膝関節症です。いわゆるO脚やX脚に伴い発症しますが、欧米と異なり日本人ではO脚に伴うことが多いようです。変形性膝関節症の治療には体重コントロール、運動療法、装具・足底板療法があります。これらの治療法でもよくならずに関節に水がたまったり、ひっかかる、歩けなくなった、痛みが続く、そしてそれらを繰り返すようであれば半月板か関節軟骨に老化現象(退行変性)が起きている証拠なので手術的治療が必要な場合もあります。また、たとえ手術的治療が必要な場合でも整形外科の場合、手術が治療の終わりではなくそこから新たなリハビリテーションや再発の予防、機能の維持といったことが始まります。

このように骨・関節の疾患は診断さえ確定すれば、一連の流れ(人間の自然な経過)とその限界を十分に理解することも大切なのです。手術はあくまでこの人間のもつすばらしい自然治癒力を少しだけ手助けする手段のひとつにすぎません。

さて、最近の医学の進歩は目覚ましく、新たな高度先進医療がもたらした福音は数多くあります。代表的なものを紹介しましょう。

1. 関節リウマチや変形性の股関節症や膝関節症に人工関節を行い20年という長期にわたり成績が安定するようになりました。近年、さらにそれ以外の肘関節や肩関節、足関節、手指の関節にもデザインと素材に優れた人工関節が出てきています。股関節や膝関節ほどの歴史はまだありませんが、肘関節は15年の安定した成績がでてきました。また、股関節や膝関節では小さな切開(きず)で手術後、早期に歩行訓練や関節をうごかす訓練が可能となりました。
2. 特にオリンピック選手などトップアスリートに関節鏡視下による最小の侵襲で手術を行うことにより早期にスポーツ復帰が可能になりました。野球肘やサッカー選手の膝の靭帯損傷がこれらの対象になります。
3. 再生医療、遺伝子治療の進歩により骨・軟骨の再生、神経の再生にすることがわかってきています。膝関節内ヒアルロン酸注入療法による関節軟骨の再生や骨粗鬆症の治療に使うくすりも再生医療のひとつと考えてもいいでしょう。このように、医学の進歩により多くの福音がもたらされている中で一番大切なことは、自然経過を含め病氣をよく理解する事とその予防です。上手に情報を活用されて、日常生活のなかにスポーツや運動療法を取り入れ、健康を維持することがとても重要なことといえるでしょう。



# 北部イベント

## 外来患者さまアンケート集計結果報告

当院では、医療サービスの質の評価・改善に組織的に取り組むため、医療サービス向上委員会を設置しております。そして、その委員会が主体となって、年に2回、外来患者さまアンケートを実施しております。平成20年度第2回目のアンケート調査として、1月19日～23日の5日間、ご協力いただきました。565名の方にご協力をいただき、ありがとうございました。その集計結果をご報告いたします。(無回答数は掲載いたしません)

〈かかりつけ医はいますか〉	いる・・・63.4%	いない・・・32.0%	
〈来院回数について〉	初診(紹介状あり)・・・4.6%	初診(紹介状なし)・・・3.9%	再診・・・87.4%
〈予約の有無について〉	予約あり・・・87.4%	予約なし・・・10.3%	
〈診察までの待ち時間〉	30分以内・・・25.7%	60分以内・・・24.4%	90分以内・・・19.1%
	120分以内・・・8.3%	120分以上・・・15.2%	
〈実際の診察時間〉	3分以内・・・14.2%	5分以内・・・37.3%	10分以内・・・26.7%
	15分以内・・・7.4%	30分以内・・・5.5%	
〈待ち時間に欲しいもの〉	テレビ・・・12.2%	本・雑誌・・・25.9%	喫茶コーナー・・・11.4%
	混雑状況が把握できるシステム・・・34.5%		その他・・・6.2%
〈診察内容の満足度〉	満足・・・36.1%	やや満足・・・20.4%	ふつう・・・31.5%
	やや不満・・・4.6%	不満・・・2.3%	
〈診察した医師の説明・態度〉	満足・・・44.6%	やや満足・・・17.9%	ふつう・・・21.9%
	やや不満・・・4.2%	不満・・・1.8%	
〈対応した看護師の説明・態度〉	満足・・・37.9%	やや満足・・・16.3%	ふつう・・・28.8%
	やや不満・・・1.6%	不満・・・1.1%	
〈検査した職員の説明・態度〉	満足・・・31.7%	やや満足・・・15.0%	ふつう・・・24.6%
	やや不満・・・2.3%	不満・・・0.2%	
〈受付・会計窓口の接客・態度〉	満足・・・31.5%	やや満足・・・16.5%	ふつう・・・35.0%
	やや不満・・・3.9%	不満・・・1.1%	
〈ロッカー設置の希望について〉	希望する・・・21.8%	あればいいと思う・・・12.0%	どちらでもいい・・・37.0%
	あまり希望しない・・・7.1%	希望しない・・・7.3%	
〈院内の施設や設備について〉	満足・・・26.7%	やや満足・・・32.2%	ふつう・・・26.2%
	やや不満・・・3.7%	不満・・・1.8%	
〈当院敷地内全面禁煙について〉	知っている・・・79.3%	知らなかった・・・12.6%	

## 医師の配属・異動・退職

### 新規配属医師

【3/1付】

【附属病院より】

**松本 浩明** (脳神経外科)  
昭和大学医学部  
脳神経外科学教室より

**成島 三里** (産婦人科)  
昭和大学医学部  
産婦人科学教室より

【他病院より】

**向井 敦子** (麻酔科)  
平成13年  
昭和大学卒

**伊藤 寛晃** (消化器C)  
平成5年  
自治医科大学卒

【配置転換】

□ **宮地 英行** (消化器センター ⇒ 救急センター)

### 異動・退職医師

【2/28付】

【転出】

□ **小林 信介** (脳神経外科 ⇒ 医学部脳神経外科学教室へ)

## 診療統計

2009年2月統計データ( )内は1日平均

診療実日数 入院・・・28日 外来・・・23日

	外来患者数	入院患者数	救急搬送数	手術件数
2月	30,860人(1,341.7人)	15,701人(560.8人)	291件(10.4件)	588件(30.9件)

## 外来担当表

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

平成21年3月1日改定

	月		火		水		木		金		土	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
呼吸器センター	鹿間裕介(初診)		中島宏昭(紹介初診)		神尾義人(初診)	鹿間裕介(再診)	笠原慶太(初診)		北見・遊谷(初診)		医局員(初診)	
	笠原慶太(初診)	笠原慶太(再)	井上七重(初)	中島宏昭(再)	鹿間裕介(初)	北見明彦(再)	鹿間裕介(再)	神尾義人(再)	中島宏昭(再)	中島宏昭(再)		
消化器センター	医局員	大塚和朗	田中淳一		蟹江 浩	蟹江 浩	里館 均	里館 均	大塚和朗	大塚和朗	医局員	
	林 武雅	草野智一(限)	井上晴洋	井上晴洋	和田祥城	和田祥城	医局員	池原伸直	池原伸直	医局員		
	細島寿久	出口義雄	櫻田博史	櫻田博史	遠藤俊吾	遠藤俊吾		池原伸直	池原伸直	医局員		
	山科冬彦	山科冬彦	工藤進英	橋本雅彦	石田文生	石田文生	櫻田博史	山科冬彦	山科冬彦	遠藤俊吾		
循環器センター	磯村直栄		落合正彦		小原千明		荒木 浩		工藤進英(特診)		医局員	
	星本剛一		山本明和		薬師寺忠幸		藤倉寿則	御子栄幸		斎藤重博		
	伊藤篤志(心臓血管外科)	黒子洋介(血管外科)	上村 茂(先天性心疾患)		伊藤篤志(心臓血管外科)		富田 英(先天性心疾患)		山邊陽子(先天性心疾患)		石野幸三(心臓外科)	伊藤篤志(心臓血管外科)
メンタルケア(初)	工藤行夫(精神全般統合失調症)		伊川太郎	伊川太郎	堀 宏治(精神全般認知症)	堀 宏治(物忘れ初診)	板垣(奇数)黒沢(偶数)	板垣(奇数)黒沢(偶数)	吉益晴夫	吉益晴夫	西岡玄太郎	
	板垣太郎	板垣太郎	富岡 大	富岡 大	西岡玄太郎	西岡玄太郎	吉益晴夫	吉益晴夫	工藤行夫		堀 宏治	
メンタルケア(再)	黒沢顕三	黒沢顕三	青木麻梨	青木麻梨	内田充彦	内田充彦	菊地 優	菊地 優		常岡俊昭	常岡俊昭	
メンタルケア(再)			青木麻梨	青木麻梨	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎	伊川太郎				
内科(22-5)		高橋 健(内科腎臓)										
内科(23-2)	吉田典世(内科)	山本真寛(内科)		土屋静馬(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)	土屋静馬(内科)	内田奈名子(内科)	菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)	
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)	福井俊哉(記憶認知)	内田奈名子(内科)	内田奈名子(内科)	衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	山本真寛(内科)	川崎仁志(内科神経)	医局員	
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	坂下暁子(内科血液)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川肇雄(内科消化器)	吉田典世(内科)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	医局員	三代川肇雄(内科消化器)	
内科(25-1)	菊池雷太(内科神経)		小林功治(内科)		菊池雷太(内科神経)		和田幸寛(内科)	滝西安隆(内科)	滝西安隆(内科)	大野恭史(内科)	医局員	
内科(25-2)		井上 稜(内分・代謝)		竹島亜希子(内科)	木村 聡(内科・感染症)					小林功治(内科)	医局員	
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)	成島道昭(内科)	和田幸寛(内科)	中山文義(腎)(第1火休診)	小林功治(内科腎臓)		田口 進(内科消化器)				渡邊浩之(1,3内科)	
内科(25-5)	荻原 徹(糖尿病,内分)		嶋田 顕(内科腫瘍)		荻原 徹(糖尿病,内分)		嶋田 顕(内科腫瘍)	嶋田 顕(内科腫瘍)	荻原 徹(糖尿病,内分)	富田高重(第1内科消化器)	荻原 徹(糖尿病,内分)	
内科(25-6)		伊東友弘(内科腫瘍)		大野恭史(内科)	女性専門外来(予約のみ)	竹島亜希子(内科)	緒方浩顕(内科腎臓)	成島道昭(内科)	伊東友弘(第4休診内科腫瘍)	緒方浩顕(内科腎臓)	伊藤英利(内科腎臓)	
内科(25-7)	宮下耕一郎(内科)	宮下耕一郎(内科)	辻 正富(糖尿病,内分)	辻 正富(糖尿病,内分)	伊藤英利(内科腎臓)	伊東友弘(内科腫瘍)	辻 正富(糖尿病,内分)	辻 正富(糖尿病,内分)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病,内分)	
小児科	梅田 陽	神経外来	梅田 陽	乳児検診	北澤重孝	心臓外来	梅田 陽	成育外来	梅田 陽	乳児検診	医局員	
小児科	曾我恭司	予防接種	曾我恭司	70-77才 外来	梅田 陽	腎臓外来(1,3,4)	曾我恭司	70-77才 外来	松岡 孝	70-77才 外来	医局員	
小児科	北澤重孝		北澤重孝	血液内科(4)心理相談	京田学是		井上真理	口腔発達(2,3)心理相談	北澤/藤巻	上村茂(心臓)	医局員	
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		杉山彰英	杉山彰英(奇)医局員(偶)	
皮膚科(初16-3)	保坂浩臣		宋 寅傑		三井湖麻江		保坂浩臣		宋 寅傑		医局員	
皮膚科(再16-1)	宋 寅傑		上岡なぎさ									
皮膚科(再16-2①)	上岡なぎさ	外科手術	三井湖麻江	外来手術	医局員	外科手術	医局員	外来手術	上岡なぎさ	外来手術	医局員	
皮膚科(再16-2②)			保坂浩臣		上岡なぎさ		三井湖麻江		保坂浩臣			
外科	梶澤/中村(第3以外)	中村明央	梶澤由博	杉本啓一(3)	新井一成		新井一成	井関雅一(偶)岩波正英(3)	中村明央	岩波正英(第2,4)	中村明央(奇)新井一成(偶)	
外科	梶澤由博(3)		福成信博		山崎智巳		梶澤由博	兼坂 茂(予約のみ)	福成信博	中村明央	梶澤由博(奇)山崎智巳(偶)	
外科	福成信博(1,2,4初)								梶澤由博			
形成外科	大塚尚治	ビ・リンク		【手術日】	工藤勝秀		手術日		大塚尚治	安倍徳寿	安倍(1)工藤(2,4,5)大塚(1再3)	
緩和ケア(麻酔科)(22-6)		岡本健一郎(事前予約制)					岡本健一郎(事前予約制)			岡本健一郎(事前予約制)		
脳神経外科(初再診)	小林信介	桑名亮輔		【手術日】	河面倫有			河面倫有	小林信介	河面倫有	医局員	
脳神経外科	池田尚人	(診断書外来)	紹介状のみ(初)	【手術日】	池田尚人	(退院後外来)	小林信介		池田尚人		医局員	
整形外科	医局員(初診外来)	逸見範幸	西山嘉信	川崎恵吉	尾又弘晃		三雲 仁	逸見範幸	医局員	医局員		
整形外科	岡 良臣	器具診予約のみ	三雲 仁		逸見範幸	器具診予約のみ	三雲 仁	藤田将勝		医局員		
整形外科	山口正哉		山口正哉		稲垣克記		稲垣克記					
整形外科	川崎恵吉		大下優介		川崎恵吉		川崎恵吉		大下優介			
産婦人科初診(12-7)	佐々木康(奇)八鍬恭子(偶)		高橋 諄		高橋 諄		小塚(第2,4)八鍬・吉江(奇)		小川公一		医局員	
産婦人科産科I(12-1)	宮上 哲		小川公一		栗城亜具里				吉江正紀			
産婦人科産科II(12-6)			宮上 哲		宮上 哲		小山壽美江			特殊診予約のみ		
産婦人科婦人科I(12-8)	小川公一		佐々木康	特殊診予約のみ	吉江正紀		高橋 諄		小山壽美江	特殊診予約のみ	医局員	
産婦人科婦人科II(12-6)	栗城亜具里		八鍬恭子						宮上 哲			
泌尿器科(初診11-1)	椎木一彦	椎木(検査)予約のみ	永田将一		菅原 草		井上克己	押野見・前田(予約のみ)	島田 誠	丸山邦隆(予約のみ)	医局員(初再診)	
泌尿器科(再診11-3)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	菅原 草(検査)予約のみ		永田将一	永田(検査)予約のみ	椎木一彦	菅原(検査)予約のみ	井上克己	井上(検査)予約のみ		
泌尿器科(検査11-5)		女性外来(第2)	術後1ヶ月診									
眼科	岡本幸子	特殊診(岡本)	小池正直	特殊診(岡本)	遠藤貴美		小池正直	特殊診(小池)	遠藤貴美		小池正直(奇)南 雅之(偶)	
眼科	南 雅之		南 雅之	特殊診(南)	岡本幸子		遠藤貴美	特殊診(遠藤)	南 雅之	特殊診(南)	岡本幸子(奇)嶋田撰也(奇)	
眼科	嶋田撰也	特殊診(嶋田)	友安幸子	特殊診(遠藤)			嶋田撰也	特殊診(嶋田)	嶋田撰也		遠藤貴美(偶)	
耳鼻咽喉科13-1	門倉義幸(初診)	腫瘍甲狀腺外来予約のみ	医局員(初診)		医局員(初診)		篠 美紀(初診)	榑橋幸民(再)	医局員(初診)		医局員(初診)	
耳鼻咽喉科13-2	山田良直(再)		高橋 郷(再)				門倉義幸(再)予約のみ	門倉義幸(再)予約のみ				
耳鼻咽喉科13-3①	篠美紀(再)						藤居直和(再)					
耳鼻咽喉科13-3②							補聴器外来K予約のみ	補聴器外来N予約のみ				

◎放射線治療の外来日は、月・火・木金： 船橋電二医師です。

◎リハビリ科外来日は、火曜日午後： 真野英寿医師です。

※奇=奇数通 偶=偶数兼 数字=診療日 窓口通 限=限定